

平成26年 社長年頭挨拶

平成26年1月6日
住友不動産株式会社
社長 仁島 浩順

新年明けましておめでとうございます。

昨年の日本経済は、アベノミクスによる株高・円安への転換で景況感が大幅に改善した。デフレ脱却と景気回復に向け、ようやく挑戦できる地合いが整ってきた。安倍政権には、引き続き、景気下支えのため実効性のある経済対策を期待したい。

当社は、4月より第六次中期経営計画をスタートさせた。初年度は、目標に掲げた過去最高業績の更新が視野に入ったが、最後まで油断せず確実に仕上げたい。一方、足元では、消費税増税の影響や建設費上昇への対応など、中計の目標達成に向け課題は多く、先行きは決して楽観できない情勢だ。加えて、将来の少子高齢化なども見据え、当社の目指す「持続的な成長」実現には、既存事業の基盤強化や新分野の開拓が急務だ。全役職員が現状に満足することなく、今の仕事のやり方を抜本的に見直し改めること。今一度、当社の行動指針である「快活な気風、高い目標、新しい発想」という原点に立ち返り、それぞれの課題に取り組んでほしい。

今年も一年間、明るく元気に頑張ろう。

以上